

令和2年度 第1回東員町まち・ひと・しごと創生懇談会 主な意見

日時：令和2年11月11日（水）午後2時～

場所：西庁舎2階 201～202会議室

1 東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

○オレンジバスの利用者数について、免許返納者が増加していると思われるが、乗車数に影響はあったか。

(回答) 見えるほどの効果はない。ただし来年度から免許返納者に対する施策を進めている。

2 地方創生交付金事業の効果検証について

○町内の21歳の方が新規就農されたということを聞いたが、新規就農される方のデータはあるか。

(回答) データは手元にないが、若者会議にも若手農業者に参画してもらっていたり、マルシェにも農産物の販売やPRをしたりしているので啓発につながっているのではないか。

○加速化交付金のブランド戦略展開事業の指標②「健康活躍のまち」を担う専門人材数について、H28の実績が目標を大きく上回っているが、それ以降の伸びがないのは何か理由はあるのか。

(回答) H28に立ち上がった若者会議の活動から派生して、別の人材が現れることを期待したが、現れなかった。しかし、若者会議はその活動を通して観光に関する団体を立ち上げたり、名物を作り上げるなど今も活動を続けている。

○加速化交付金の移住促進事業の指標①県外からの移住者数について、R1の実績がH30に比べ倍増しているが要因は何と考えているか。

(回答) 加速化交付金の移住促進事業の取り組みで、PRパンフレットである「こんにちは！東員町です。」を庁舎や図書館などに配架したり、町ホームページから閲覧できるようにするなどしている効果も考えられる。

○加速化交付金の移住促進事業の指標①県外からの移住者数について、どこから転入してくる人が多いのか。また町内のどこに転入しているのか。

(回答) 県外からの転入者は近隣県である、愛知県や岐阜県が多い。転入者の多くは神田地区、稲部地区に転入している。

○子育て支援拠点整備交付金の指標について、指標①を見ると住宅取得などによる定住数はどうやって計測しているのか。また指標③の「東員町の子育て」に魅力を感じる世帯が少ないように感じる。世帯をKPIにするのではなく割合などで示すことはできないか

(回答) 転入時にアンケートの記入を依頼し、その集計で計測しているので全数を反映させられていない。また指標③の「東員町の子育て」に魅力を感じる世帯数は、アンケートに答えて頂いた中から、子育て世帯のみを抽出し、さらに指標①と指標②と重複しない世帯を計測している。

- アンケートの回答数によって KPI の達成度が変わってしてしまう。アンケートに回答数を母数として「東員町の子育て」に魅力を感じる世帯数を割合にすることはできないか。
(回答) 指標①から③の KPI を世帯数ではなく、割合で評価できるよう改めたい。

3-1 地方創生交付金事業加速化交付金の効果検証について

効果検証に対する評価

1 「健康活躍のまち」ブランド戦略展開事業の評価は、おおむね達成できていることから「■総合戦略のK P I 達成に有効であった。」と評価し、事業の今後はすでに終了している事業は除き「事業の継続」とする。

2 「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業の評価は、目標値を大幅に達成しているため「■総合戦略のK P I 達成に有効であった。」と評価し、事業の今後はこれからも効果が期待できるとして「事業の継続」とする。

3-2 地方創生交付金事業拠点整備交付金の効果検証について

効果検証に対する評価

1 子育て支援拠点事業の評価としては指標①、③が目標より下回って推移しているが指標②の子育て世代の移住世帯数は順調に推移していることから「■総合戦略のK P I 達成に有効であった。」と評価し、事業の今後は指標の単位を改めて「事業の継続」とする。

4 次期東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

意見なし

5 次回の東員町まち・ひと・しごと創生懇談会は来年2月を予定している。